特別支援学級における英語活動

旭川市立緑が丘小学校　久保　稔

①「非言語コミュニケーション」として生かす英語活動

→視線、表情、姿勢、身振り（手振り）、話者との距離（物理的距離感）、声の大きさ、抑揚

○ジェスチャーゲーム

・粗大運動：走る、歩く、跳ぶなどの基本的な大きい体の動き
・微細運動：指先の細かい運動
・協応運動が苦手：ボール投げや縄跳びなどいくつかの動きや感覚を組み合わせた運度

} 苦手

◇体を動かすことが好き　◇視覚優位の子が多い

○日常生活での活動　ex)挨拶、謝罪、お願い、礼儀など

・日常生活の場面を取り上げることで、生活経験を積める。
・自己評価の向上…活動を通して、たくさん褒める。

※コミュニケーションの視覚化

○…活動名
・…活動の意図、苦手（不得意）な点
◇…自閉症児の特徴

○ソーシャル・スキル・トレーニング　ex)シアター

・興味や関心を引きつける

※その場面で使用されている英語表現を理解できているかのチェックにも利用できる。

②独特の「リズム」を伴う英語活動

○リズム遊び　ex）古今東西ゲーム

○動作と歌

・歌…平易でみんなが知っているもの
・動作…動きが大きくて、繰り返しのあるもの

※市販の活動例だけではなく、替え歌などのオリジナルのものの活用も。

③TPRを取り入れた英語活動　※TPR…動作と音

○動作と歌を取り入れた活動　ex）“Hello”，“Head, Shoulders, Knees and Toes”，“Five Little Monkeys”

・表情が乏しい　・粗大運動が苦手

◇体を動かすのが好き　→　情緒の開放、人とのかかわり

※周囲を気にせずに声を出せる。

※リズムの変化…子どもの内的リズムは速い。

④その他　～情緒学級の児童の特性に配慮した英語活動～

〇誰でもタッチリレー

・順番や勝ち負けにこだわる

※一番へのこだわりが強い…一番になれないとパニックを起こす、活動をやめる・けなす。

〇神経衰弱

・興味や関心を引きつける　・集中力の持続　・勝ち負けにこだわる

◇視覚優位の子が多い

〇じゃんけん

・順番にこだわる　→日常生活の中でよくある場面を英語活動で

〇　□□バスケット

・友だちとのかかわり（協力）

◇社会性の障害　孤立型…一人遊びに没頭している。遊び方が独特で他者が遊びに参加しにくい。

〇絵を描く活動　ex）Draw a Monster、ぬり絵

・想像力の欠如　・こだわり（ある動作を反復したり、同一性を維持しようとしたりする傾向）

〇反復練習を取り入れた活動

◇反復練習を嫌がらない　→　外国語の習得に有利